

保 健

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書◆	保健 301 501	A 4 128	平成31年
4	大日本図書	大日本◆	保健 302 502	A B 98	
207	文教社	文教社	保健 303 503	A 4 88	
208	光文書院	光 文◆	保健 304 504	A 4 108	
224	学研教育みらい	学 研◆	保健 305 505	A 4 96	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」(学校教育法第34条第2項に規定する教材)の 発行予定があることを示しています。

校 種		聴覚障害特別支援学校	肢体不自由・病弱特別支援学校
観点	児童の実態	・両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上で、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度である。	・肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度である。 ・慢性の疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度である。
	1 障害のある児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について	・視覚的な方法等を活用した学習活動が工夫できるもの。 ・聴覚障害の理解に関わる記述があるもの。	・健康な生活や病気の予防、けがの手当て等が取り上げられているもの。
	2 障害への配慮を要する内容等について	・言葉や音を聞き取る活動等があり、学習活動に困難が想定されるもの。	・運動制限や上肢の操作を伴うため、学習活動に困難が想定されるもの。
構成上の工夫	障害の状態に応じた事項、その他	・聴覚の障害を補えるように、写真、図表等で視覚的に説明しているもの。	・まひによる注視の困難を補えるように、学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で記されているもの。 ・通院等による学習空白のため、学習のポイント等が簡潔に記されて理解しやすいもの。 ・写真、図表等で視覚的に説明されているもの。 ・ページをめくる等の動作が難しい場合があるため、見開きページで学べるようになっているもの。

小学部 保健(聴覚障害特別支援学校)

発行者		東書	大日本	文教社
内 容	「健康な生活」 ページ数	20 最多	16	16
	「体の発育・発達」 ページ数	18 最多	16 最少	16 最少
	「心の健康」 ページ数	16 最多	12 最少	12 最少
	「けがの防止」 ページ数	28 最多	16	13 最少
	「病気の予防」 ページ数	32 最多	24	23 最少
	運動と健康の関わりについて、取り上げている箇所数	7 最多	6	5 最少
	体の発育・発達に関する個人差を肯定的に受け止めることについて、取り上げている箇所数	9 最少	11	12 最多
	不安や悩みへの対処の方法を身につけることについて、取り上げている箇所数	4 最少	4 最少	4 最少
	危険の予測や回避の方法を考えることについて、取り上げている箇所数	8 最多	8 最多	3 最少
	病気の予防に関する解決策を考えることについて、取り上げている箇所数	8	8	8
	発展的な内容を取り上げている箇所数	21	14 最少	16
	聴覚障害のある児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①視覚的な方法等を活用した学習活動が工夫できるもの。 ②聴覚障害の理解にかかわる記述があるもの。	15箇所 ①5・6年「事故やけがの原因」では、イラストの中から事故やけがの原因となることを探す活動があり、視覚を活用した学習ができる。(P20、21) ②なし	15箇所 ①3・4年「大きくなってきたわたし」では、付録にあるシールを活用して、自分の身長の変化を調べる活動があり、視覚を活用した学習ができる。(P25) ②なし	16箇所 ①3・4年「体のせいけつ」では、脱脂綿を使って手の汚れを調べる活動があり、体験的な学習ができる。(P11) ②なし
	聴覚障害への配慮を要する内容等について ①言葉や音を聞き取る活動等があり、学習活動に困難が想定されるもの。	5箇所 ①3・4年「外で遊ぶときに注意すること」では、知らない人に声を掛けられた時の行動に関する記載があり、学習の際に配慮が必要である。(P44)	6箇所 ①5・6年「不安やなやみがあるとき」では、相談機関への電話相談に関する記載があり、学習の際に配慮が必要である。(P15)	5箇所 ①5・6年「けがの手当て」では、怪我をしている人を見つけたときに電話で通報する記載があり、学習の際に配慮が必要である。(P25)
構成上の工夫	本文の文字の大きさ	3・4年 15ポイント 5・6年 15ポイント	3・4年 14ポイント 5・6年 14ポイント	3・4年 13ポイント 5・6年 12ポイント
	欄外の文字の大きさ	10ポイント	9ポイント	9ポイント
	ふりがな	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字
	障害の状態に応じた事項、その他 ①聴覚の障害を補えるように、写真、図表等で視覚的に説明しているもの。	①3・4年「体の成長とわたし」では、現在の自分と比較できるよう、1才頃の赤ちゃんの手形や靴の原寸大の写真を示している。(P24、25)	①5・6年「心と体のつながり」では、不安な時や緊張したときの心と体の関係について、イラストで視覚的に説明している。(P11)	①5・6年「病気の予防」では、病気の主な原因について、絵や図で視覚的に説明している。(P32)
参考	性差と家族についての扱い	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり

小学部 保健(聴覚障害特別支援学校)

	発行者	光文	学研
内	「健康な生活」 ページ数	16	14 最少
	「体の発育・発達」 ページ数	18 最多	16 最少
	「心の健康」 ページ数	14	14
	「けがの防止」 ページ数	18	14
	「病気の予防」 ページ数	26	24
	運動と健康の関わりについて、取り上げている箇所数	6	5 最少
	体の発育・発達に関する個人差を肯定的に受け止めることについて、取り上げている箇所数	11	12 最多
	不安や悩みへの対処の方法を身につけることについて、取り上げている箇所数	4 最少	5 最多
	危険の予測や回避の方法を考えることについて、取り上げている箇所数	6	4
	病気の予防に関する解決策を考えることについて、取り上げている箇所数	8	8
容	発展的な内容を取り上げている箇所数	32 最多	20
	聴覚障害のある児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①視覚的な方法等を活用した学習活動が工夫できるもの。 ②聴覚障害の理解にかかわる記述があるもの。	20箇所 ①3・4年「身の回りのかんきょう」では、部屋の明るさの調整や空気の入替えなど、健康に過ごすための方法を調べる活動があり、体験的な学習ができる。(P18、19) ②なし	15箇所 ①5・6年「交通事故の防止」では、学校から家までの道にある道路標識やカーブミラー等を調べる活動があり、視覚を活用した学習ができる。(P23) ②なし
	聴覚障害への配慮を要する内容等について ①言葉や音を聞き取る活動等があり、学習活動に困難が想定されるもの。	8箇所 ①5・6年「自然災害から身を守る」では、電車やバスの車内で災害が起きたときの行動に関する記載があり、学習の際に配慮が必要である。(P36)	6箇所 ①3・4年「かけがえのない健康」では、休養の例として音楽を聞く活動の記載があり、学習の際に配慮が必要である。(P7)
構成上の工夫	本文の文字の大きさ	3・4年 15ポイント 5・6年 13ポイント	3・4年 16ポイント 5・6年 14ポイント
	欄外の文字の大きさ	8ポイント	8.5ポイント
	ふりがな	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字
	障害の状態に応じた事項、その他 ①聴覚の障害を補えるように、写真、図表等で視覚的に説明しているもの。	①5・6年「生活習慣の予防②」では、正しい歯の磨き方についてイラストで視覚的に説明してある。(P53)	①3・4年「1日の生活のしかた」では、登場人物の生活リズムの違いについて、時間に沿ってイラストで対比して視覚的に示してある。(P8)
参考	性差と家族についての扱い	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり

小学部 保健(肢体不自由・病弱特別支援学校)

発行者		東書	大日本	文教社
内	「健康な生活」 ページ数	20 最多	16	16
	「体の発育・発達」 ページ数	18 最多	16 最少	16 最少
	「心の健康」 ページ数	16 最多	12 最少	12 最少
	「けがの防止」 ページ数	28 最多	16	13 最少
	「病気の予防」 ページ数	32 最多	24	23 最少
	運動と健康の関わりについて、取り上げている箇所数	7 最多	6	5 最少
	体の発育・発達に関する個人差を肯定的に受け止めることについて、取り上げている箇所数	9 最少	11	12 最多
	不安や悩みへの対処の方法を身につけることについて、取り上げている箇所数	4 最少	4 最少	4 最少
	危険の予測や回避の方法を考えることについて、取り上げている箇所数	8 最多	8 最多	3 最少
	病気の予防に関する解決策を考えることについて、取り上げている箇所数	8	8	8
容	発展的な内容を取り上げている箇所数	21	14 最少	16
	肢体不自由・病弱の児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①健康な生活や病気の予防、けがの手当て等が取り上げられているもの。	19箇所 ①3・4年「けんごうによい1日の生活」では、1日の過ごし方を示し、生活リズムの大切さが取り上げられている。(P12)	13箇所 ①5・6年「生活のしかたと病気の予防②」では、虫歯や歯茎の病気の予防について具体的に取り上げられている。(P44)	18箇所 ①5・6年「けがの手当」では、けがをしたときの対処の仕方を、フローチャートや図等で取り上げてある。(P24、25)
	肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について ①運動制限や上肢の操作を伴うため、学習活動に困難が想定されるもの。	4箇所 ①5・6年「けがの手当」では、けがの手当をする実習があり、上肢の操作を伴うため、配慮が必要である。(P44)	3箇所 ①3・4年「大きくなってきたわたし」では、付録にあるシールを活用してグラフを作成する活動があり、上肢の操作を伴うため、配慮が必要である。(P25)	2箇所 ①3・4年「体の発育」では、グラフへ色を塗る活動があり、上肢の操作を伴うため、配慮が必要である。(P20)
構成上の工夫	本文の文字の大きさ	3・4年 15ポイント 5・6年 15ポイント	3・4年 14ポイント 5・6年 14ポイント	3・4年 13ポイント 5・6年 12ポイント
	欄外の文字の大きさ	10ポイント	9ポイント	9ポイント
	ふりがな	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字
	障害の状態に応じた事項、その他 ①まひによる注視の困難を補えるように、学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で記されているもの。 ②通院等による学習空白のため、学習のポイント等が簡潔に記されて理解しやすいもの。 ③写真、図表等で視覚的に説明されているもの。 ④ページをめくる等の動作が難しい場合があるため、見開きページで学べるようになっているもの。	①5・6年「心と体のつながり」では、活動する内容の見出しは赤に白抜きで文字が書かれ、見るポイントを薄いピンクの線で枠取りしてある。(P9) ②3・4年「けんごうな生活」では、単元ごとのまとめが記載してある。(P23) ③5・6年「交通事故の防止」では、大きな写真で視覚的に課題の提示がされ、グラフで事故状況ごとの負傷者数が示してある。(P29) ④なし	①3・4年「1日の生活のしかた」では、活動する内容の箇所が薄い黄色で網掛けされ、緑の点線で枠取りしてある。(P10) ②5・6年の巻末に6年生のまとめが示してある。(P56) ③5・6年「病原体と病気の予防」では、病原体の写真やイラストを使って、視覚的に説明してある。(P38) ④3・4年「1日の生活のしかた」では、見開きで学習できるようにしてある。(P10、11)	①3・4年 単元ごとに学習のポイントを枠囲みで記し、キーワードは字体を変え、太字で示してある。(P15) ②3・4年 単元ごとに学習のポイントを枠囲みで記してある。(P23) ③5・6年「不安やなやみへの対処①」では、対処方法についてイラストで示してある。(P9) ④5・6年「けがの手当て」の発展では、見開きページ全面にイラストと写真で、災害時に考えるポイントを示してある。(P28、29)
参考	性差と家族についての扱い	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり

小学部 保健(肢体不自由・病弱特別支援学校)

発行者		光文	学研
内	「健康な生活」 ページ数	16	14 最少
	「体の発育・発達」 ページ数	18 最多	16 最少
	「心の健康」 ページ数	14	14
	「けがの防止」 ページ数	18	14
	「病気の予防」 ページ数	26	24
	運動と健康の関わりについて、取り上げている箇所数	6	5 最少
	体の発育・発達に関する個人差を肯定的に受け止めることについて、取り上げている箇所数	11	12 最多
	不安や悩みへの対処の方法を身につけることについて、取り上げている箇所数	4 最少	5 最多
	危険の予測や回避の方法を考えることについて、取り上げている箇所数	6	4
	病気の予防に関する解決策を考えることについて、取り上げている箇所数	8	8
容	発展的な内容を取り上げている箇所数	32 最多	20
	肢体不自由・病弱の児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①健康な生活や病気の予防、けがの手当て等が取り上げられているもの。	15箇所 ①5・6年「感染症の予防」では、せきやくしゃみから他人に感染させないためのマスクの使用法などが示してある。(P42)	15箇所 ①5・6年「けがの手当て」では、けがをしたときの対応等を具体的に取り上げてある。(P30)
	肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について ①運動制限や上肢の操作を伴うため、学習活動に困難が想定されるもの。	2箇所 ①3・4年「変化していく体」では、グラフへ色を塗る活動があり、上肢の操作を伴うため、配慮が必要である。(P24)	2箇所 ①3・4年「変化してきたわたしの体」では、身長伸びをグラフに表す活動で、紙テープを切り取って台紙に貼る作業があり、上肢の操作を伴うため、配慮が必要である。(P22)
構成上の工夫	本文の文字の大きさ	3・4年 15ポイント 5・6年 13ポイント	3・4年 16ポイント 5・6年 14ポイント
	欄外の文字の大きさ	8ポイント	8.5ポイント
	ふりがな	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字
	障害の状態に応じた事項、その他 ①まひによる注視の困難を補えるように、学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で記されているもの。 ②通院等による学習空白のため、学習のポイント等が簡潔に記されて理解しやすいもの。 ③写真、図表等で視覚的に説明されているもの。 ④ページをめくる等の動作が難しい場合があるため、見開きページで学べるようになっているもの。	①3・4年 キーワードを字体を変えて太字で記している。(P19) ②5・6年 章末に学習のまとめが示してある。(P38) ③3・4年「変化していく体」では、イラストとグラフで個人差について示してある。(P26、27) ④5・6年「心の発達」では、見開きで全面にイラストと写真で、様々な経験、人との関わり等の例が示してある。(P10、11)	①3・4年 重要な用語を太字で示してある。(P24) ②5・6年 各単元の表題の横に「ここで学ぶこと」として、学習ポイントを枠囲みで示してある。(P30) ③5・6年「交通事故の防止」では、交通事故を防ぐための工夫について、写真で示してある。(P23) ④5・6年「病気の起こり方」では、見開きページで学習の内容を示してある。(P34、35)
参考	性差と家族についての扱い	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり